企業リスクアセスメント報告書の見方

本資料は、「貴社　企業リスクアセスメント　報告書」をもとに貴社の全社リスクを貴社内でご検討頂くことを目的として作成されたものです。弊社の了解なく本資料の一部又は全てについて複製・譲渡又は開示することは禁止します。
本資料中の条件、数字、スキーム、ストラクチャー、時期その他の内容は確定的なものではなく、今後諸般の事情により変更される可能性があります。また、本資料に関わる取引に関連したリスクを全て特定、網羅するものではなく、利益を保証するものではありません。

SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

目次

1. 目的..3
2. 実施概要 3
3. 評価者の内訳..3
4. リスクマップ..4
5. エリア別　ワーストリスクランキング..7
6. 全リスク　ワーストランキング 10
7. リスク種別評価 レーダーチャート 13
8. 総合ワースト 10　リスクマップ...14
9. リスク種別　リスクマップ 15
10. リスク評価点一覧..16
11. リスク項目の解説..17

SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

1. 目的

企業を取り巻く環境は大きく変化し、新たなリスクが日々、発現しています。一旦は優先順位が低いとされたリスクも、何らかの要因で大きなリスクに変貌することがあり、企業としては、これらのリスクを常に監視し、対策の優先順位を柔軟かつ的確に決めて行く必要があります。

本診断の目的は、会社経営の視点から貴社の全社的リスクを洗い出し、そのリスクの頻度・影響度を相対的に捉えることで、対策の優先順位を明確にすることにあります。評価結果を以下のような観点で捉えることで問題の根本を探ると同時に、詳細なリスク戦略を立案するヒントが得られます。

2. 実施概要

本診断では、どの企業においてもリスクの影響度・頻度を下記の 6 段階のレンジで評価いただいています。これにより、業種・業態や企業規模に関わらず業種平均や市場平均を絶対値で算出することができ、次回以降の診断から貴社の各リスク種別の平均値と業種平均や市場平均との比較が可能になります。企業業績等に伴ない影響度の評価額が仮に低額のレンジに偏った場合においても、リスク分布に合わせてリスクマップのスケールが自動設定されますので、リスクマップ上のリスク分布はリスク対応の優先順位を決定する上で、必要十分なものとなります。

影響度		
1.Minimal	→1000万円未満	○
2.Low	→1000万円以上　1億円未満	○
3.Minor	→1億円以上　5億円未満	○
4.Significant	→5億円以上　10億円未満	○
5.Huge	→10億円以上　50億円未満	○
6.Catastrophic	→50億円以上	○

頻 度		
a.Regular	月に1度程度	○
b.Frequent	数ヶ月に1度位から年に1度程度	○
c.Moderate	数年に1度位から5年に1度程度	○
d.Rare	5年以上に1度位から25年に1度程度	○
e.Very Rare	25年以上に1度位から100年に1度程度	○
f.Unanticipated	それ以上の長い期間に1度程度	○

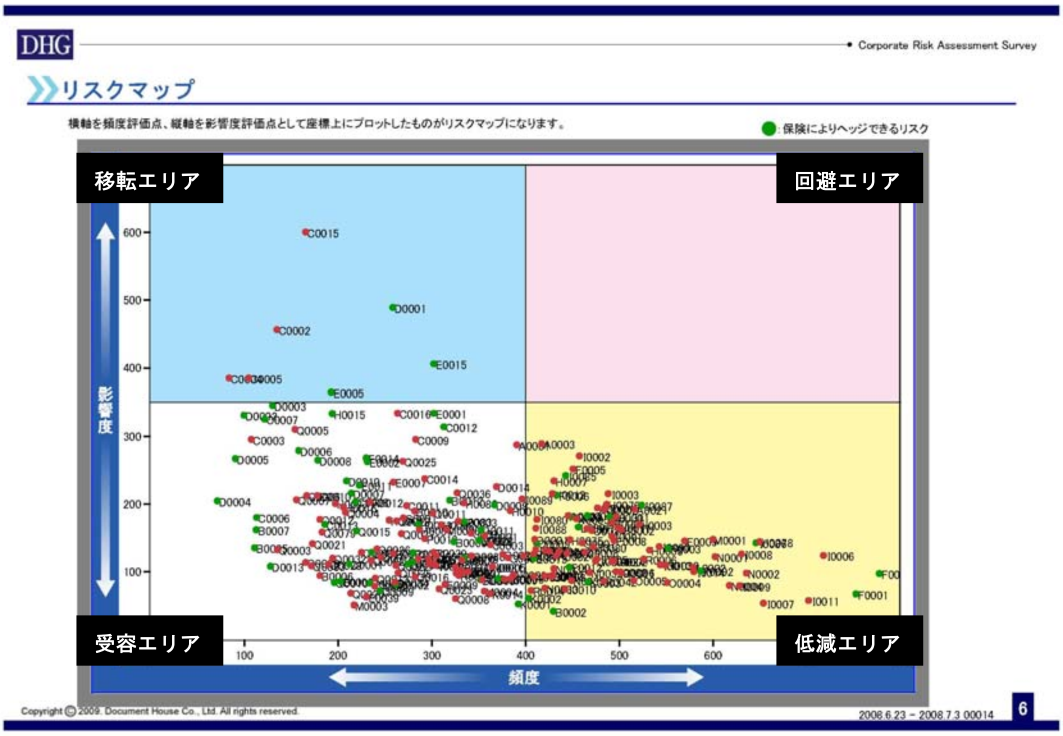
3. 評価者の内訳

SAMPLE

今回、診断にご協力頂いた評価者と総数をリストでご確認頂けます。次回以降、評価者数を決定する場合の参考にしてください。会社の規模により評価者の選定方法が異なりますが、通常は各部門で管理職以上の方々に評価を実施して頂きます。評価者数が多いほど、データの客観性が高まる傾向にあります。

Copyright© 2010, Document House Group

4. リスクマップ



●回避エリア：

リスクが顕在化する可能性が高く、また発生した場合の影響も非常に大きな、会社にとって現在最も脅威となっているリスクがプロットされるエリア。

●低減エリア：

一つ一つの損害は軽微だが頻度が高いため、累積損害が大きくなるリスクがプロットされるエリア。

SAMPLE

●移転エリア：

頻度は低いが顕在化すれば大損害が予想されるリスクがプロットされるエリア。

●受容エリア：

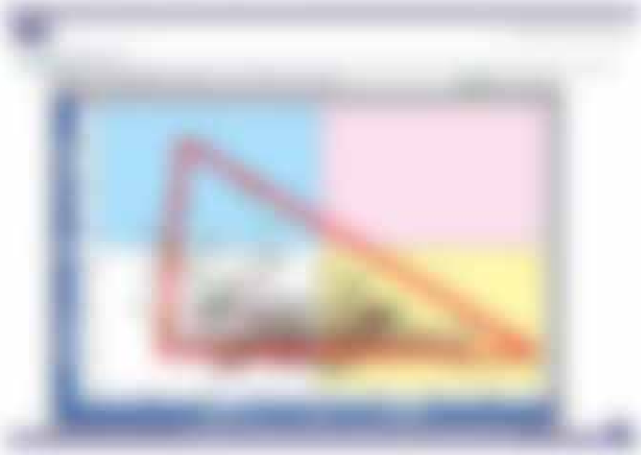
頻度が低く、かつ顕在化したとしても損害が比較的軽微なリスクがプロットされるエリア。

■リスクマップ上のリスク分布形状

本診断結果におけるリスクマップの「回避エリア」、「低減エリア」、「移転エリア」にプロットされたリスクを「受容エリア」に移すためのリスク対策（リスクコントロール）を実施し、定期的に診断を実施することでリスクを監視するとともに、リスク低減策の効果を検証することが可能になります。まずは、リスクマップ上のリス

Copyright© 2010, Document House Group

クの分布状況から全体的なリスク傾向を見て行きます。以下の３つの点（●印）について確認してください。



SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

5. エリア別　ワーストリスクランキング

各エリアで上位にランキングされたリスク（上位 30 位程度まで）を見ていきます。それぞれのエリアごとに配置されるリスクには傾向があります。

SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

■ランキング項目によるリスクの特徴

上位30位までにランクインしたリスクと項目により以下のようなリスクの特徴を見ることができます。

SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

6. 全リスク　ワーストランキング

影響度と頻度で上位にランキングされたリスク（上位 30 位程度まで）を見ていきます。それぞれのランキング上位に配置されるリスクには傾向があります。

SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

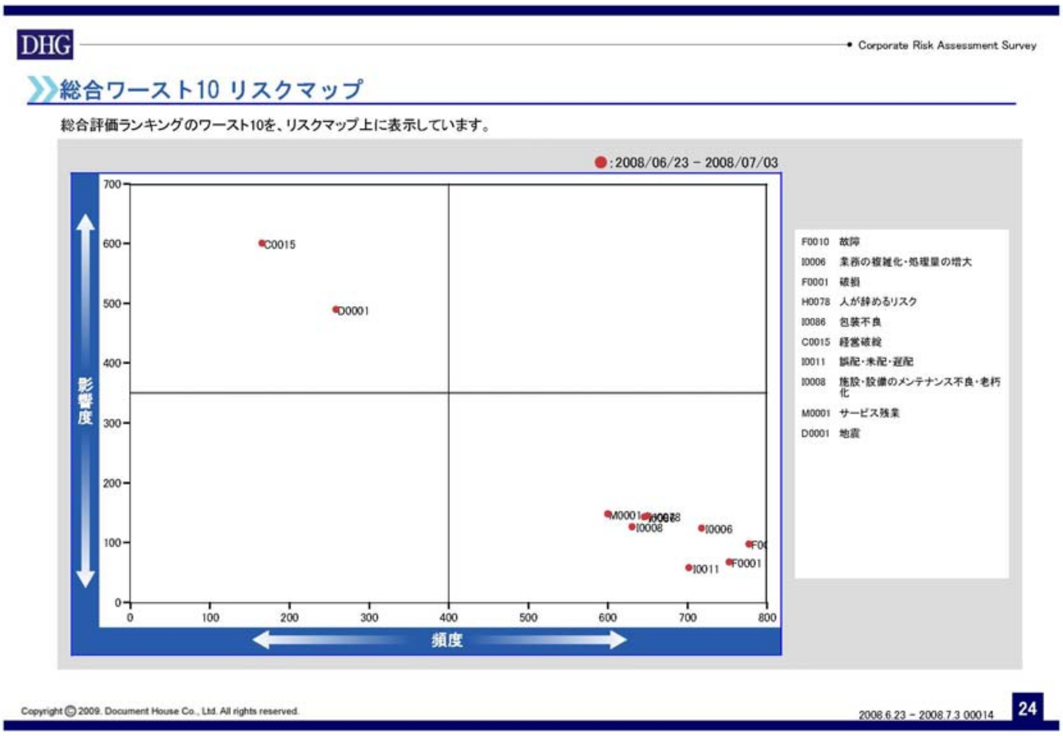
7. リスク種別評価 レーダーチャート

貴社のリスクを 18 のリスク種別に分類した場合のリスク傾向を、レーダーグラフで確認することができます。

SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

8. 総合ワースト 10　リスクマップ

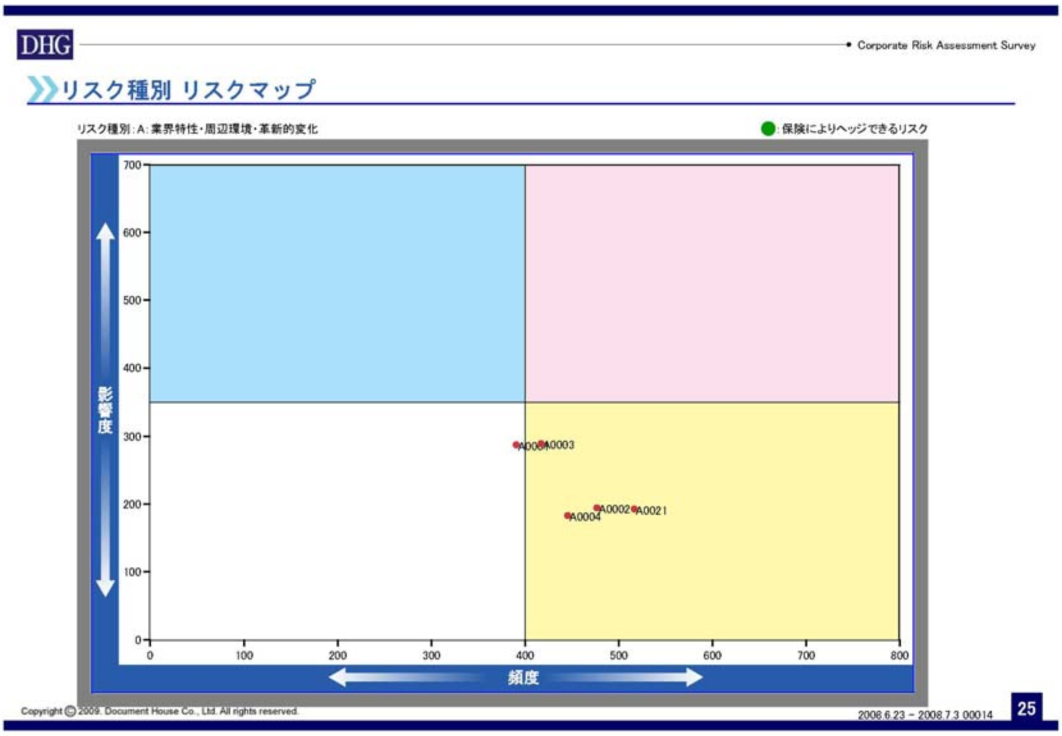


今回の総合評価ランキングのワースト 10 がリスクマップに表示されます。
最も高いリスクと評価されているので、最優先での対応が求められるリスクとなります。

SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

9. リスク種別　リスクマップ



「3.リスクマップ」を下記「A～R」の 18 種類のリスク種別ごとに、分解したリスクマップとなります。

A.　業界特性・周辺環境・革新的変化　【非財務リスク】
B.　犯罪行為　【非財務リスク】
C.　人為的現象　【非財務リスク】
D.　異常気象・自然災害　【非財務リスク】
E.　偶発的現象　【非財務リスク】
F.　小損害集積　【非財務リスク】
G.　財務リスク　【財務リスク】
H.　戦略リスク　【戦略リスク】
I.　業務プロセスに関わるリスク　【オペレーショナルリスク】
J.　CSR レポート管理　【オペレーショナルリスク】
K.　人権問題　【オペレーショナルリスク】
L.　安全衛生管理　【オペレーショナルリスク】
M.　労務管理　【オペレーショナルリスク】
N.　権限体系に関わるリスク　【オペレーショナルリスク】
O.　情報処理/技術に関わるリスク　【オペレーショナルリスク】
P.　法務・コンプライアンス・モラルに関するリスク
　　【オペレーショナルリスク】
Q.　社内の違反・違法行為　【オペレーショナルリスク】
R.　経理・財務に関するリスク　【オペレーショナルリスク】

SAMPLE

各プロット点には、リスクコードが付与されていますので、このリスクコードに対応するリスクを「10.リスク評価点一覧」および「11.リスク項目の解説」で参照してください。

Copyright© 2010, Document House Group

10. リスク評価点一覧

今回の評価における全設問の総合評価点・影響度評価点・頻度評価点を見ることができます。総合評価点は、影響度評価点と頻度評価点の平均値として算出しています。リスク種別は、下記の７種の外部要因と 11 種の内部要因の計 18 種別から構成されています。

■リスク種別

●外部要因

A. 業界特性・周辺環境・革新的変化　【非財務リスク】
B. 犯罪行為　【非財務リスク】
C. 人為的現象　【非財務リスク】
D. 異常気象・自然災害　【非財務リスク】
E. 偶発的現象　【非財務リスク】
F. 小損害集積　【非財務リスク】
G. 財務リスク　【財務リスク】

●内部要因

H. 戦略リスク　【戦略リスク】
I. 業務プロセスに関わるリスク　【オペレーショナルリスク】
J. CSR レポート管理　【オペレーショナルリスク】
K. 人権問題　【オペレーショナルリスク】
L. 安全衛生管理　【オペレーショナルリスク】

SAMPLE

Copyright© 2010, Document House Group

M.　労務管理　【オペレーショナルリスク】
N.　権限体系に関わるリスク　【オペレーショナルリスク】
O.　情報処理/技術に関わるリスク　【オペレーショナルリスク】
P.　法務・コンプライアンス・モラルに関するリスク
　　【オペレーショナルリスク】
Q.　社内の違反・違法行為　【オペレーショナルリスク】
R.　経理・財務に関するリスク　【オペレーショナルリスク】

11. リスク項目の解説

全リスク項目について、その理解を促す目的から解説を設けています。本サービスは初回導入版のため、リスク項目は、全業種業態、企業規模に係わらず、共通のリスク項目を設けています。

SAMPLE

貴社の業務に合わせて診断を実施される場合には、リスク項目およびその編集が可能なサービスメニュー（i-CRAS_standard C/MC）をご利用ください。
本診断結果が、今後の貴社におけるリスクマネジメントの取り組みの一助となれば幸いです。
i-CRAS_basic をご利用頂き、誠に有難うございました。

Copyright© 2010, Document House Group